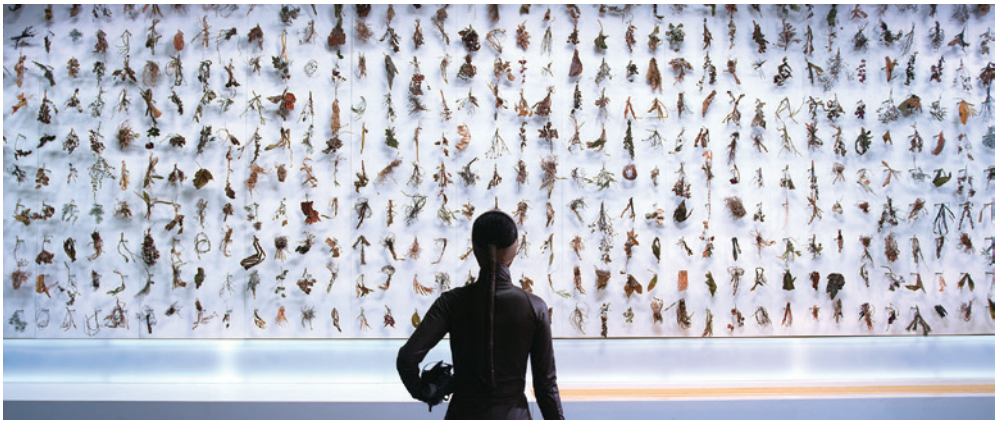
ムン・キョンウォン＆チョン・ジュンホ
どこにもない場所のこと

2022年5月3日（火・祝）～9月4日（日）

1



《世界の終わり》2012
2 channel HD video installation with sound.
13 min. 35sec
金沢21世紀美術館蔵 © MOON Kyungwon and JEON Joonho

展覧会名	ムン・キョンウォン＆チョン・ジュンホ：どこにもない場所のこと
会期	2022年５月3日（火・祝）～9月4日（日）
休場日	月曜日（ただし7月18日、8月15日は開場）、7月19日、8月16日
開場時間	10:00～18:00（金・土曜日は20：00まで） ※観覧券販売は閉場の30分前まで
会場	金沢21世紀美術館　展示室7～12
料金	一般 1,200円（1,000円）/ 大学生 800円（600円）/ 小中高生 400円（300円）/ 65歳以上の方 1,000円 ※（　）内は団体料金（20名以上）及びウェブチケット料金 ※入場当日に限り、「コレクション展2　BLUE」（対象期間：5月3日～5月8日）及び「コレクション展1　うつわ」（対象期間：5月21日～9月４日）にもご入場いただけます。
日時指定ウェブチケット購入開始日	2022年4月1日（金）10:00～
日時指定ウェブチケット購入方法	当館ウェブサイト（https://www.kanazawa21.jp）よりご購入いただけます。
主催	金沢21世紀美術館［公益財団法人金沢芸術創造財団］
協賛	サムソン文化財団
助成	コリア・アーツ・マネジメント・サービス
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL：076-220-2800

本資料に関する
お問合せ

金沢21世紀美術館　担当学芸員：中田耕市・野中祐美子
広報担当：石川聡子・齊藤千絵・落合博晃
〒920-8509　金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814　FAX 076-220-2802
https://www.kanazawa21.jp　E-mail: press@kanazawa21.jp

展覧会概要

現代韓国を代表するアーティストデュオ、ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホによる国内初となる大規模個展。彼女たちは結成当初よりアートの社会的機能と役割を提示しつつ、さまざまな領域の専門家との対話と協働のための実践的なプラットフォームを提唱してきました。本展では、未来の人類が生存と自由の獲得のために葛藤する姿を詩的に描いた新作映像インスタレーション、2021年に韓国国立近現代美術館で発表された《News from Nowhere : Freedom Village》およびアポカリプス前後の異なる時間軸とその接続を精緻に描き出した代表作《世界の終わり》を中心に展観し、さらに2018年から進めてきた金石地区（金沢市）での滞在制作についても、映像、ドローイング、マケットなどを通じて、彼女たちの思考と活動を多面的に紹介します。現代社会が直面する課題を抽出し、未来と過去を往還しながら、現在を生きる我々に力強いメッセージを投げかける彼女たちの作品世界を存分に体験していただけることでしょう。

作家プロフィール

ムン・キョンウォン　MOON Kyungwon

1969年ソウル（韓国）生まれ。※写真左

チョン・ジュンホ　JEON Joonho

1969年釜山（韓国）生まれ。※写真右

ムン・キョンウォンとチョン・ジュンホによるデュオ。近年、学際的なプラットフォームを作ることに焦点を当てた共同プロジェクト「News from Nowhere」を活動の中心としている。最初のサイトスペシフィックな共同作品を2012年のドクメンタで発表。主な個展に2013年「News from Nowhere」シカゴ美術館附属美術大学、2015年ミグロス現代美術館（チューリッヒ）、「The Ways of Folding Space & Flying」ヴェネチアビエンナーレ韓国館、2017年「Freedom Village」スカイ・ザ・バスハウス（東京）、2018年〜2019年「News from Nowhere」テート・リバプール、2021年「News from Nowhere: Freedom Village」韓国国立近現代美術館（ソウル）、2021年「奥能登国際芸術祭2020+」（珠洲・石川）などがある。金沢21世紀美術館では、2018年東アジア文化都市2018「変容する家」、2019年開館15周年記念「現在地：未来の地図を描くために[1]」、2018年〜2019年自治区AIR 金石大野アートプロジェクトに参加。

2

ムン・キョンウォン & チョン・ジュンホ

展覧会の特徴

現代韓国を代表するアーティストデュオ、ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホによる国内初となる大規模個展

ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホは現代社会が直面する課題を抽出し、そこで生きる私たちに詩的かつ象徴的なメッセージを投げかける映像作品で世界的に評価の高い、現代韓国を代表するアーティストデュオです。ユニット結成当初の2009年より「現代世界における芸術の社会的機能と役割は何か」を問いかけるプロジェクト「News from Nowhere」*を軸に作品を展開してきました。この度、金沢21世紀美術館ではムン・キョンウォン&チョン・ジュンホによる大規模個展を国内で初めて開催します。

*「News from Nowhere」はウィリアム・モリスの同名の小説からインスピレーションを得て命名。

3

News from Nowhere : Freedom Village, 2021
2 channel HD film installation, color, sound　14 min. 35 sec.
installation view at National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea

本展のための新作を含む3点の大型映像インスタレーションを軸に、ムン&チョンの領域横断的かつ歴史横断的な思考と活動を多面的に紹介

本展のための新作は、ムン&チョンが金石地区（金沢市）での滞在制作を通して撮影されたシーンを含む映像インスタレーションです。2021年に韓国国立近現代美術館で発表された映像インスタレーション《News from Nowhere : Freedom Village》、彼女たちの代表作で当館コレクションでもある《世界の終わり》の3点の大型映像インスタレーションを軸に、ムン&チョンの領域横断的かつ歴史横断的な思考と活動を多面的に紹介します。

歴史横断的な視点で世界の「今」を読み解く展覧会

本展は3点の映像インスタレーションを軸に構成されています。1点目は現実と仮想現実を行き来しながら、自由を求める人間の意志と葛藤を描いた本展のための新作映像。2点目は韓国と北朝鮮の間にある非武装地帯に存在し、地政学的には不可視とされている村を主題に、過去から未来へと歴史を横断する「Freedom Village」シリーズの最新作《News from Nowhere : Freedom Village》。3点目はポストアポカリプス的な未来とそこからの過去の二つの物語が交差する《世界の終わり》です。いずれの作品もドキュメンタリーとフィクションの間を往還しながら、社会システムの矛盾や国家・世界の有り様を問うています。これらの作品に通底する歴史横断的な視点から世界の「今」を読み解きます。

主な出品作品

《News from Nowhere: Eclipse》 2022

シングルチャンネル・ビデオ・インスタレーション　17分5秒

本展で初めて発表される新作映像インスタレーションです。人一人いない大海原で救命ボートを居所として危機にさらされながら暮らす男。仮想現実の世界に取り込まれながらも、その支配からの解放を切望し、根源的な自由を追い求める人間の意志が描かれます。光の檻を思わせる空間の中で、大型LEDパネルに映し出される映像はサウンドやライティングと同期し、鑑賞者を作品世界へと没入させます。

4 | 5

4,5.
News from Nowhere: Eclipse, 2022
single channel HD film installation, sound, light
17 min. 5 sec.

《News from Nowhere : Freedom Village》 2021

2チャンネル・ビデオ・インスタレーション　14分35秒

「Freedom Village」のシリーズ最新作として制作された本作では、韓国と北朝鮮の間の非武装地帯にある村の住民と未来に生きる人物が時空を超えて交錯し、イデオロギーの二律背反性から生み出された2つの世界が描かれます。彼女らは本作を「制度や社会システムへの内省」であり、「想像力豊かな概念を呼び起こすための新しい展望を開く比喩的な空間」と呼んでいます。表裏二面の大型LEDパネルの映像のほか、サウンドや絵画、写真、テキストで構成される複合的な大型のインスタレーション。この作品は金沢21世紀美術館と韓国国立近現代美術館との協働をもとに制作されました。

6

News from Nowhere : Freedom Village, 2021
2 channel HD film installation, color, sound
14 min. 35 sec.
installation view at National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea
For the project "MMCA Hyundai Motor series NEWS FROM NOWHERE."
Co-organized by National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea

《世界の終わり》 2012

2チャンネル・ビデオ・インスタレーション　13分35秒

二面のスクリーンに投影される映像は、ある男性アーティストの活動を描く「現在」と、ポスト・アポカリプスに生きる女性が旧世界文明の調査に赴く「未来」とがパラレルに進行し、「未来」の女性は男性の制作した作品の痕跡を通じて「現在」と接触します。デュアル・プロジェクションの手法が最大限に活かされ、アポカリプス前後の異なる時間軸とその接続が映像世界として精緻に描き出されており、明確なコンセプトと研ぎ澄まされた表現力、映像作品としての高い完成度が共存しています。

7 | 8

7,8.
《世界の終わり》2012
2 channel HD video installation with sound.
13 min. 35 sec.
金沢21世紀美術館蔵 © MOON Kyungwon and JEON Joonho

《Silent Planet》 2020-2022

2チャンネル・ビデオ・インスタレーション　7分48秒

本展のために制作された新作の映像作品であり、前述の《News from Nowhere: Eclipse》と連環しています。当館のアーティスト・イン・レジデンス・プログラムに参加し、レジデント・アーティストとして金石地区（金沢市）に滞在した彼女たちが同地で撮影した映像を通して、「誰もが消え去った不在の村」が描き出されます。また、同じ展示室では金石地区でのリサーチを経て、街の特性を活かしながらその機能拡張や風景の変容に言及する、彼らのドローイングやマケットなどを展観します。

9

Silent Planet, 2020-2022
2 channel HD video installation with sound. 7min. 48sec.

関連プログラム

アーティスト・トーク

「ムン・キョンウォン&チョン・ジュンホ：どこにもない場所のこと」展の関連プログラムとしてアーティスト・トークを行います。

※日本語逐次通訳付き

日時：2022年5月3日（火・祝）13:00〜15:00

会場：金沢21世紀美術館 レクチャーホール

定員：一般90名（要事前申し込み・先着順）

料金：無料

言語：英語、韓国語／日本語　※逐次通訳付き

広報用画像

画像1〜9を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。

https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。

Sponsorship

SAMSUNG FOUNDATION OF CULTURE

Grant

Ministry of Culture, Sports and Tourism

korea Arts management service

Fund for Korean Art Abroad 2022 – 2023

for the project “MMCA Hyundai Motor series NEWS FROM NOWHERE”
Co-organized by National Museum of Modern and Contemporary Art, Korea
Co-curator Joowon Park
The work commissioned by MMCA, Korea & Hyundai Motor

국립현대미술관 서울관 National Museum of Modern and Contemporary Art, Seoul

HYUNDAI